

2017.1.19(木) 中日新聞

(第3種郵便物認可)



桜の名所15カ所を紹介する「岡崎さくらマップ」=岡崎市役所で

岡崎 桜の名所15カ所

岡崎市の桜の名所を紹介した「岡崎さくらマップ」が完成した。二月一日から名鉄東岡崎駅とJR岡崎駅構内の観光案内所、市役所の観光情報コーナーに置かれる。

マップには川沿いや公園、寺社に植えられた桜の観賞スポット十五カ所を掲載。桜が植えられるようになつたいきさつや開花時期、樹種などの情報を現地の写真とともに紹介し、裏面には全体の地図も載せた。

岡崎市の桜は、岡崎公園と周辺の乙川、伊賀川沿いに植えられた計八百本のソメイヨ

シノが有名で、「日本さくら名所100選」にも選ばれている。

マップには他に、市竜美丘会館裏の乙川に植わるカワヅザクラ、法藏寺（本宿町）のヤマザクラ、山間部の旧千万町小（千万町町）のソメイヨシノなども紹介した。

市企画財政部企画課の担当者は「岡崎の桜は樹種や咲く時期がばらばら。観光客にも市民にも多くの名所を知つてほしい」と話している。

B3判のカラーで千部製作。桜を生かしたまちづくりを進める「岡崎さくら100年プロジェクト」の一環で、事業費は百三十八万円。二月から市のホームページでも閲覧できる。（佐藤浩太郎）

紹介マップが完成